

行ってきました!

リサイクル施設見学学習会

情報シート59号

8月4日、鎌倉市笛田にあるリサイクルの中間処理施設を三か所見学しました。夏休みということもあり、小学生も参加して熱心にペンを走らせていました。

(株)テクノトランス

テクノトランスは、鎌倉市から委託されたペットボトルと、容器包装プラスチックの鎌倉市内収集の全量（およそ2541ト/年、そのうち、ごみなどの異物99ト/年）を中間処理しています。

わたしたちは、説明ビデオ視聴後、ガラス越しに作業場を俯瞰し、それから作業場の内部に入り、足元3㎡ほどのスペースに置かれた、危険物や異物の山に圧倒されました!



容器包装プラスチックとは?

○ 商品が入っていたプラスチックの容器や包装のことをいう。



ペットボトルとは?

○ 飲料、酒類、調味料などの入っていたプラスチックボトル。



次に、人の手による選別処理を見学。破袋機・磁選機をすり抜けた袋を鎌で破り、危険物や異物を手で取り除く作業です。何枚も重ねられた袋の中に入れ込まれた生ごみや、使いかけのマヨネーズやケチャップが飛び散ったり、梱包等のひもやテープが機械や鎌にからんでしまったり・・・

医療廃棄物の注射針や、刃物、ライターや電池など混入し、事故につながることもあるそうです。

リサイクルの流れ

処理された容プラ→プレス機で圧縮・梱包ペールに（一個およそ1㎡、280kg）→日本容器包装リサイクル協会から、処理を委託されている業者に搬入→合成ガスに改質され、アンモニアが製造され、更に、合成繊維原料や窒素肥料や虫刺され薬などに加工→私たちのもとに。

異物が混入していると、処理費用を分担している日本容器包装リサイクル協会の品質調査により処理不可になることもあり、中間処理をするテクノトランスの役割は重要です。選別は手作業で行なわれるため労力も要し、それに伴う人手の確保も課題です。私たちがゼロウェイストを目指す鎌倉市民として、ルールを守った排出をいっそう心掛けていかなければならないのではないのでしょうか。

容器包装プラスチックを排出する前にもう一度たしかめて!

●注射針や刃物、ライターや電池や割れ物などを入れないで! ●袋を袋の中に重ねないで! ●中味が入ってるもの、生ごみや腐ったもの、汚れたままの物を入れないで! ●手や道具や、機械に絡でしてしまうので、梱包テープやひもを入れないで! ●食品トレイやペットボトルは、購入したスーパーやお店の回収ボックスに返して! ●容プラは有料袋で出さないで!（有料袋を使うと燃やすごみを増やすことになります）

鎌倉市資源回収協同組合（エコステーション）

エコステーションでは家庭から出る紙類（新聞、雑誌、段ボール、ボール紙、紙パック）、布類の中間処理を行っています。資源回収量は8000t超/年です。コンベアが次々と回収したものを送り出す中、最終的には手作業での選別が必要なものもあります。

リサイクルの流れ

紙類…選別・梱包→製紙工場へ→トイレットペーパーや段ボールに。

布類…布問屋へ搬送→中古衣料として海外へ輸出、ウェスや軍手に再生、車のクッション材や、建物の断熱材などにも再生されます。

異物の混入や、不十分な分別では、作業が滞ってしまいます。

間違えやすい紙の分別例



これらはミックスペーパーです！

カップ麺の紙カップ、写真、絵葉書
*紙袋に入れてガムテープ、ホチキス止めに

これらは燃やすごみです！

卵や果物など包装用のパルプモールド紙パック、洗剤の箱(泡と臭い)金・銀の紙・ビニルコーティング紙

笛田リサイクルセンター

笛田リサイクルセンターでは、缶・ビン、ミックスペーパーの処理をしています。一日に最大40tの資源物を再利用できるように中間処理しています。清潔できちんと整頓された施設で、コンベアは動き続け、作業員はガシャン、ガシャンとすごい騒音の中でもスピーディに仕分けしています。

リサイクルの流れ

スチール缶、アルミ缶は磁選機で選別しプレス→再生工場で資源化

ビンはリターナブルビンを利用へ、他は色別カレット化→再生工場で資源に
ミックスペーパー…圧縮梱包されて、製紙会社へ送りトイレットペーパー等に



参加者の声

- *手作業での分別が多く、そこで働く人たちの仕事の困難さがよくわかりました。
- *しっかり分別することが、大事なことなんだと思いました。
- *容器に「紙」と書かれていても、「紙」の分別が違うこともあると気付きました。
- *紙の分別がわかりづらい。高齢者や外国の人にもわかるようにしてほしい。

実際に現場を見てみないとわからないことがたくさんあります。ご紹介した施設は町内会でも見学会ができます。ご希望の方は鎌倉市市役所のごみ減量対策課（電話 61-3396）までお問い合わせください。

NPO 法人 鎌倉リサイクル推進会議の紹介

環境問題をはじめ、Reduce(使用量削減)・Reuse(再使用)・Recycle(再生利用)などについて話し合い、実践する「市民運営型の活動」をめざしています。みなさまのご参加をお待ちしています。

〒248-0027 鎌倉市笛田1-11-34 笛田リサイクルセンター内 ☎0467-32-9094

ホームページ: <http://rarara-kamakura.sakura.ne.jp/>